

受益者の皆さまへ

2023年3月16日

弊社ファンドの基準価額の下落について（3月16日）

下記公募ファンドの3月16日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	3月15日	3月16日	前営業日比	騰落率
世界シェールガス株ファンド	14,784円	13,866円	▲918円	▲6.2%

【為替】

為替レート	3月15日	3月16日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	134.62	133.31	▲1.31	▲1.0%
カナダドル/円	98.35	97.01	▲1.34	▲1.4%

* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

【株価】

株式指数	3月14日	3月15日	前営業日比	騰落率
S&P500 エネルギー株指数	621.92	588.20	▲33.72	▲5.4%

基準価額下落の背景と今後の見通し

米国で起きたシリコンバレー銀行（SVB）の経営破綻を契機に世界的に金融機関の経営不安が注目される中、これまでも経営面での問題が不安視されていたスイスの金融大手クレディ・スイス・グループ（CSG）に関して、昨日（3月15日）、筆頭株主であるサウジ・ナショナル・バンクが追加投資を否定するとの報道が嫌気され、同社株価が急落しました（前日比▲24.2%）。これを契機にリスク回避の動きが強まり、世界的に株安、（金以外の）商品安が加速し、NY原油先物価格（期近）は前日比▲5.2%の67ドル台半ばまで下落し、エネルギー関連株式も大きく下落しました。

世界的な株安の中で安全資産として欧米の国債が買われた事で日米金利差が縮小し、為替市場では円が買われ、日本市場3月16日には前日比1.0%円高・ドル安の133円台前半となりました。

今後のエネルギー価格の見通しについては、ゼロコロナ政策解除後の中国景気の回復予想に伴うエネルギー需要及び価格上昇が期待されるものの、欧米の金融機関の経営問題や金融システム全体に対する不透明感の高まり、先行き景気への影響などが懸念材料と考えられます。さらに、これまでインフレ鎮静化に向けて強い引き締め姿勢を継続してきた欧米中央銀行による政策決定会合を控えていることで、金融当局の決定次第では金融システムや先行き景気への影響など波乱要因となる可能性もあります。エネルギー関連株式も当面はボラティリティの高い動きが続くと予想されることから、短期的には慎重な見方が必要と考えられます。

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%～0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会